

# 不適切行動への対応はどうあるべきか

A B A（応用行動分析学）の“きほん”の基本

新潟大学

有川 宏幸



# はじめに



# 言って聞かせても・・・

有川・立田(2015)は、小学校1年生5校、幼稚園5園の5歳児のトラブルと、その対応について一年間にわたって調査を行った。

すると・・・

- 幼稚園では、「トイレや手洗いなどの日常生活に関わる場面」「集団活動場面」に友だちとのトラブルが頻発していた。
- 入学間もない1年生は、「体育、図工」「算数・国語」「不定期の行事」などが比較的多くトラブルが起こっていた。
- どちらの場合も、とられていた対応は圧倒的に「言い聞かせる」であったが、それだけでトラブルが消失したことは少なかった・・・。

# 足型があれば・・・



- 幼稚園や、保育園では、トイレ前や水道付近は、トラブル多発地帯であった。「横入り」や「並ばず、注意される」などがその理由。
- なので、定時排泄や、給食の前などの時間は、あちこちで小競り合いが起こります。
- だから・・・こうしてみました。


# 大人だって・・・



- 大阪駅の環状線ホームの利用客は、かなり多い。
- そして、きっちり列をつくらないところがまた大阪らしい。
- だから・・・

そして、いまや・・・  
ここまでくるとカオスなんですけど





# I . 行動を分析すること、ここを理 解すること

行動の理由を探る

# 応用行動分析学とは

- 米国の心理学者Skinnerによって創始された「行動分析学」を複雑な人間行動に広く適用し、理論化された1学問体系である
- Applied Behavior Analysisの頭文字をとって通称“ABA”とも言うが、これを指導プログラムと誤解されていることが多い。注意が必要
- 主な研究領域に、「身辺自立」「コミュニケーション指導」「アカデミックスキル指導」「余暇指導」「社会的スキル訓練」「問題行動の改善」「ペアレント・トレーニング」etc





# 分析の準備をしよう!!

まずはここからはじめよう!!

# 行動分析学で扱う「行動」とは

- 行動とは . . .

Skinner(1938)は「行動とは生体の持つ機能の中で外界に働きかけ、外界と交渉をもつもの」と定義。

なんじゃらほい???



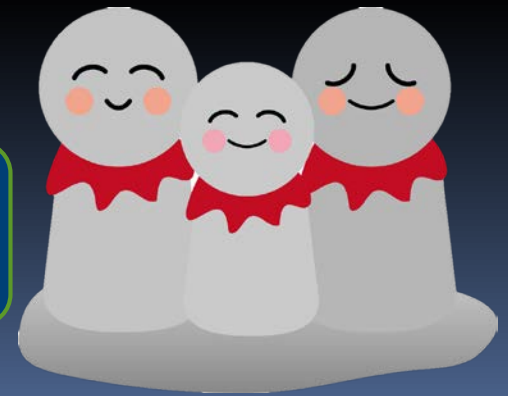
# その1

## 行動分析学における行動を定義する

「死人テスト」とはLindsley(1965)により、応用行動分析学において行動(厳密には標的行動)を定義するために提唱されたもの。

「死人に出来ることは行動とは言わない」としている。

例えば「泣く」は?



# 「行動」として定義できますか？

以下の事は「行動」として定義できるか答えよ

- ケーキを食べない
- 蜂に刺される
- 今日の昼食のことを考える
- 車にひかれる
- 鉛筆を持つ
- 二階から落ちる
- 教室内を歩く
- 会議中、発言しない
- ? 倒れている人を見るが、何もしない

# 「行動」として 定義できないもの・しにくいもの

1) 「～される」と言う受け身のもの

例: 「車にひかれる」

「蜂に刺される」

2) 「～ない」「～しない」と言う「否定」や  
「非行動」と呼ばれるもの

例: 「ケーキを食べない」

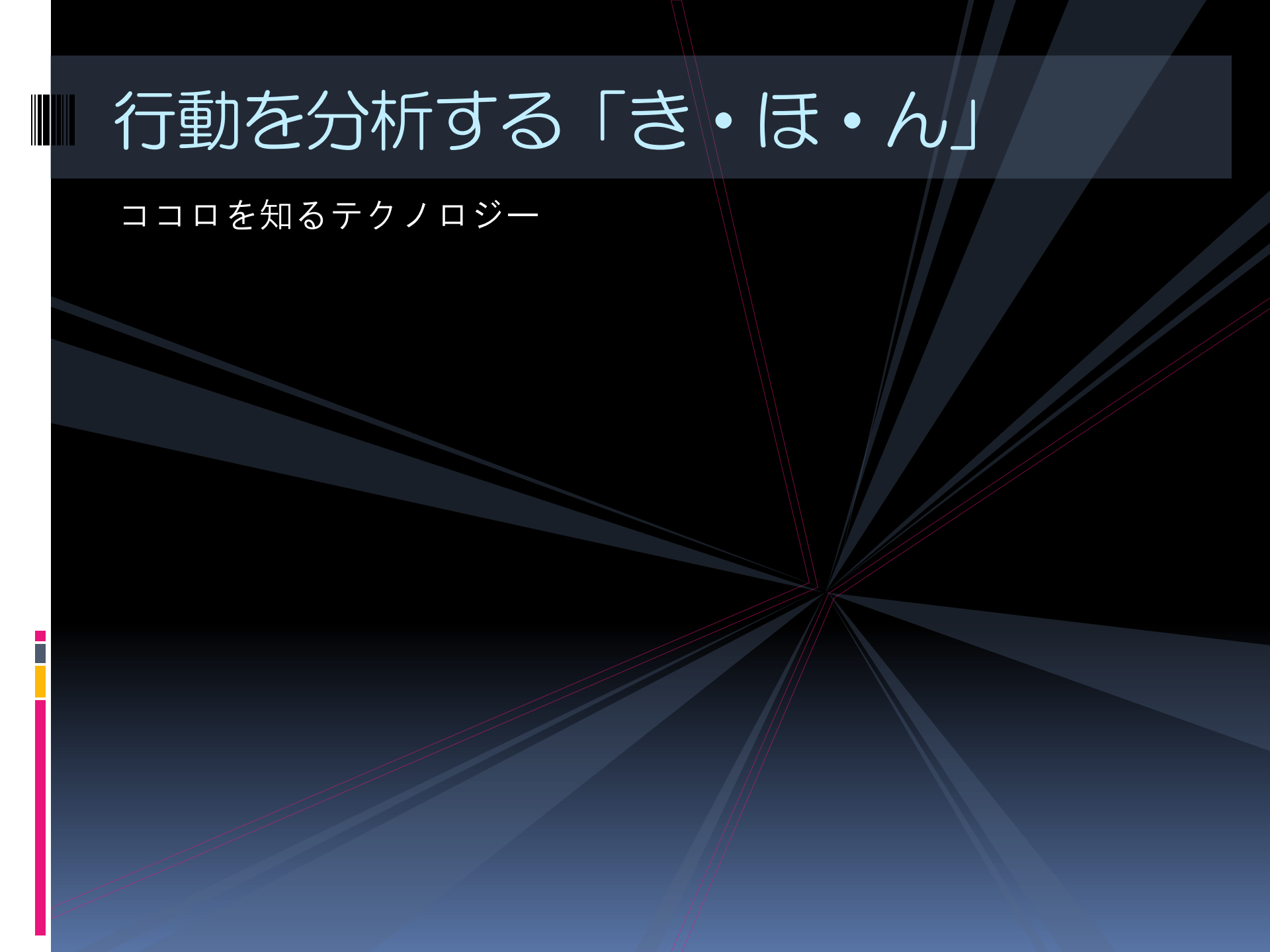

「会議中発言しない」





# 行動を分析する「き・ほ・ん」

ココロを知るテクノロジー



あなたは、なぜ、テレビのリモコンのボタンを押すのですか？



# あなたは、なぜリモコンのボタンを押すのですか？

- 「テレビが見たいから」という説明は一見、正しいようにも思える・・・が、果たしてそうだろうか？

確かに、多くの人はこの説明に納得するであろう。

- ちなみに私は・・・???

これでは、当たるも八卦、当たらぬも八卦です・・・分析は占いではないのです。

絶対に当たる分析とは・・・???



# 基本的知識（基本の「き」）

- 行動を起点に、前後の3つの関係で説明する（三項随伴性と言います）。

直前の事象

テレビがついていない



行 動

リモコンを押す



直後の事象

テレビがつく



なぜ、リモコンのボタンを押すのですか？

# 「強化」が行動へ及ぼす影響力

- 近接結果事象(proximate consequences)  
行動の直後の事態の行動への影響力は、近接していればいるほど(つまり行動の直後であるほど)「強い」
- 遠隔結果事象(distal consequences)  
遠隔であればあるほど行動には直接影響しない

60秒ルールというものもある

# 基本的知識(基本の「ほ」)



「強化」  
と名づけます

# 基本的知識(基本の「ん」)

「強化」には、  
ファーストネームがある・・・

正負の計算って、覚えていますか？  
「正」は足し算、「負」は引き算。

- 行動の後の事象が、行動の主体に「足されていた」ら、それは「正の強化」。
- 行動の後の事象が、行動の主体から「引かれていた」ら、それは「負の強化」。

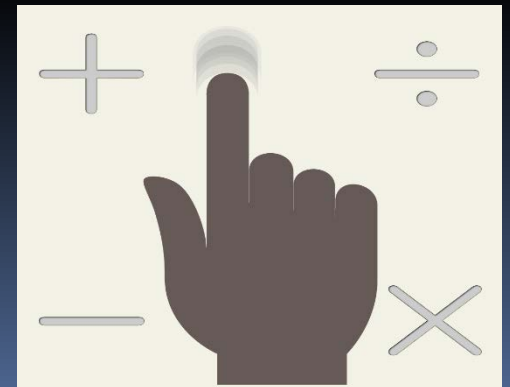
# ちなみに・・・

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

- 1)モノや活動が得られる、
- 2)好ましい感覚が得られる、
- 3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

- 4)嫌なモノや活動から逃げる、
- 5)嫌な感覚を防ぐ、
- 6)人を拒否する



# さあ、分析してみよう!!

(内容は一部変更していますが、実際の事例です)

## Practice!

- お気に入りの三人掛け用ソファーにどっかり腰を掛けている、Aさん。そこへ他の利用者さんが、腰をかけようと接近します。
- すると、Aさんは、その利用者さんに大声で「あっち行け!!」と怒鳴りました。
- 他の利用者さんは、諦めて立ち去って行きます。
- これが、最近ずっと続いています。

直前



行動



直後

# さあ、分析してみよう!!

(内容は一部変更していますが、実際の事例です)

## Practice!

- お気に入りの三人掛け用ソファーにどっかり腰を掛けている、Aさん。そこへ他の利用者さんが、腰をかけようと接近します。
- すると、Aさんは、その利用者さんに大声で「あっち行け!!」と怒鳴りました。
- 他の利用者さんは、諦めて立ち去って行きます。
- これが、最近ずっと続いています。

### 直前

ソファーへ腰かけているところに他の利用者が接近する



### 行動

大声で「あっち行け」と怒鳴る



### 直後

他の利用者さんは立ち去る

## II. 「行動」を変えるには

「困った行動」には、ワケがある





# 人の行動を変えるには・・・

- 生起している行動は、その「前」の事象により「誘発」され、そしてその「後」の事象により「強化」されています。
- 対応のツボは、行動に対して「やめなさい」と言い聞かせるのではなく、行動の「前」・「後」の事象を変更するところにあります。「前」・「後」の事象が変わると、行動は自ずと変化します。
- ただし、前後の事象に対して戦略的に変更を加えないと、悪く変化します。

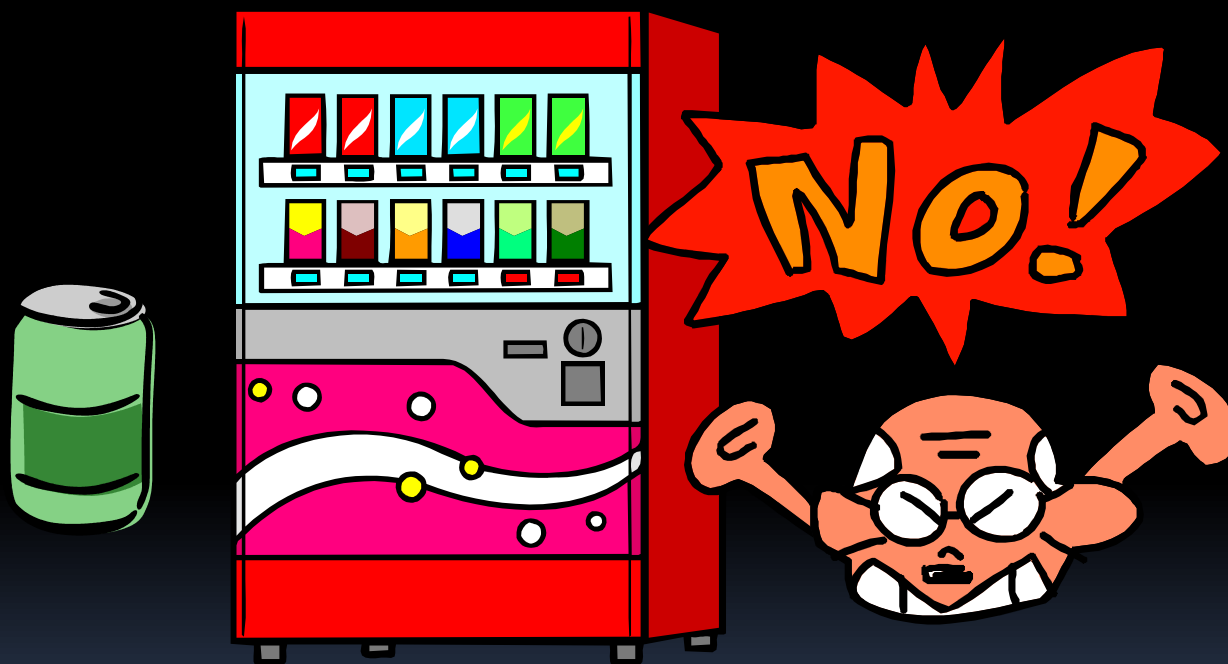
# 「行動」の「後」を変える

「強化」によって増えていた、もしくは維持しているのであれば、その「強化」が起これなければどうなると思いますか？

- 行動は、減少していきます。
- この様な手続きを「**消去手続き**」と呼びます。

ただし、「消去手続き」には注意が必要です・・・なぜなら

ボタンを押したのに、自動販売機からジュースが出てこなかったら・・・ボタンを押す行動は？



直前  
ジュースが出て  
こない



行動  
自動販売機を強  
く叩く



直後  
ジュースが出て  
くる

# 「消去手続き」によるリスク



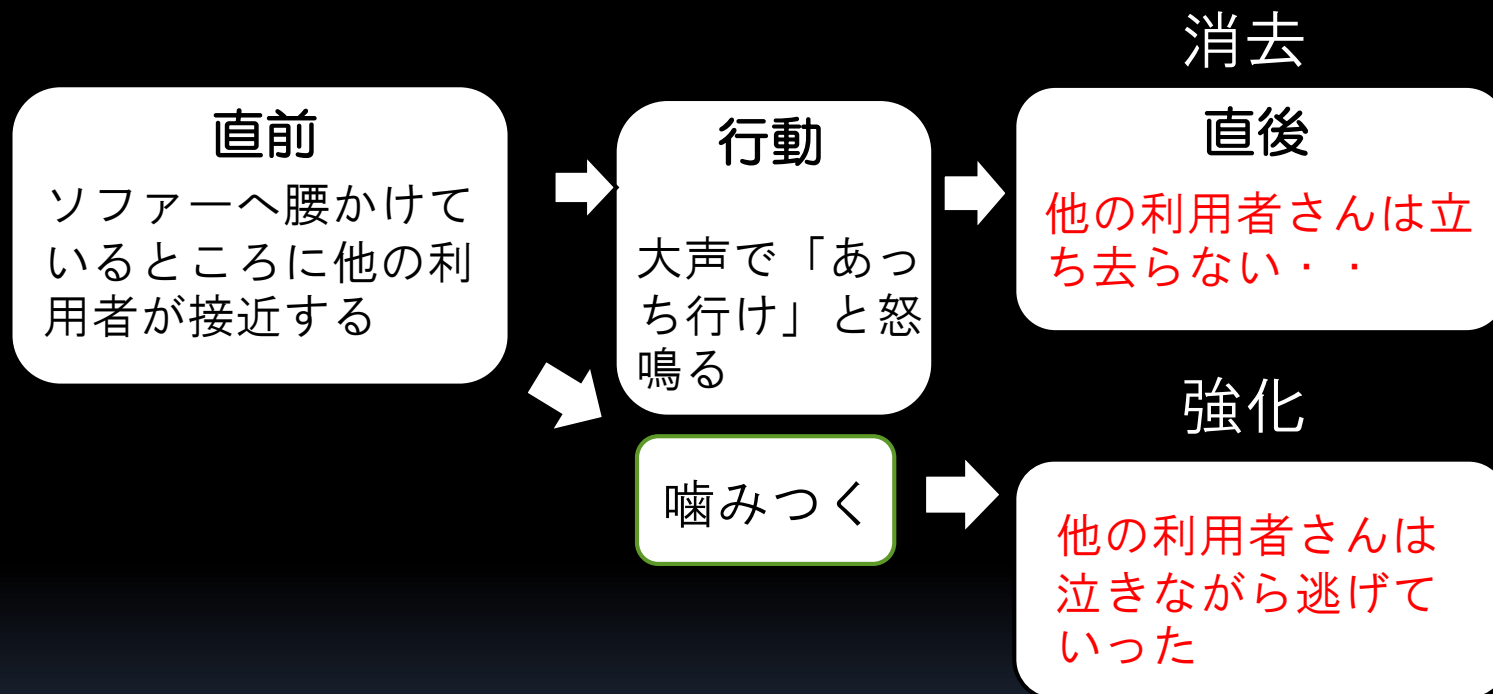
- しばらくは、しつこく続ける。行動はすぐには減らない。
- 時に急激な行動の増加がみられる。
- 攻撃的な行動が起きやすくなる。
- そして、“いずれ” 消失することになる。

こうした行動が生起している時に、「強化」すると・・・

# 先ほどの事例

「行動」の「後ろ」を変えてみました(消去手続き)

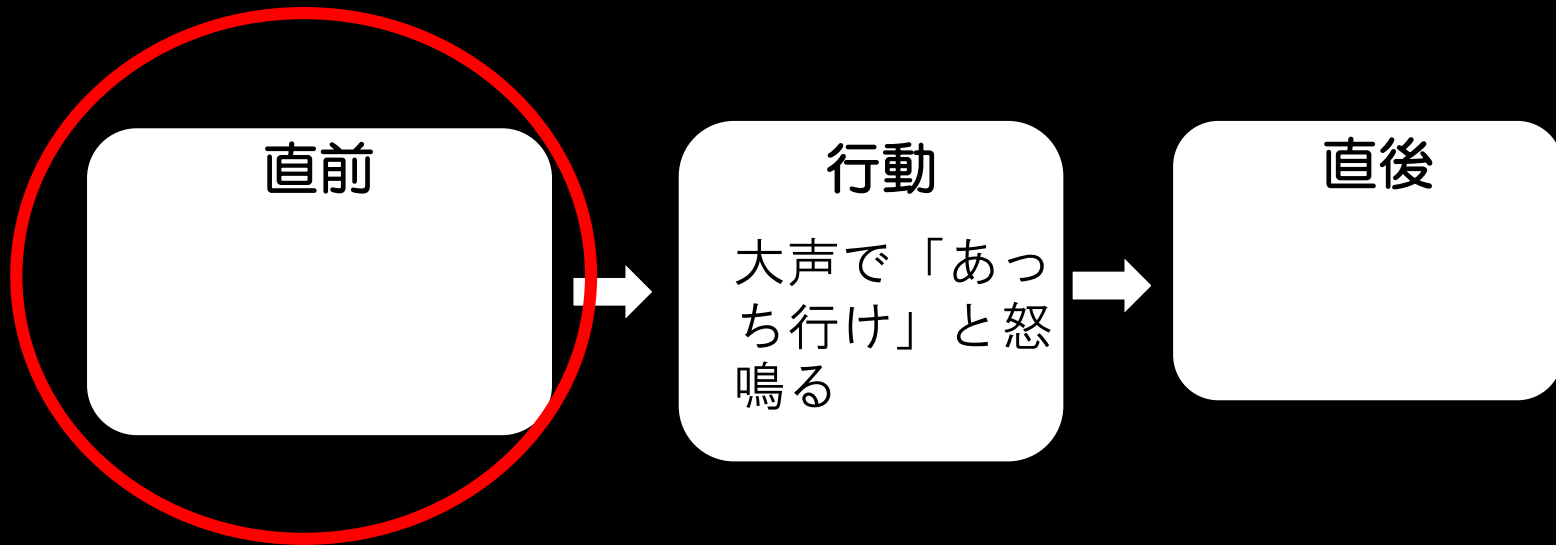
(内容は一部変更していますが、実際の事例です)



どうやら、あまり有効な手段ではなさそうです・・・ではどうしますか?



では、「行動」の前を変えてみましょう



- さて、皆さんなら、これをどのように解決しますか？
- ちなみに、これは実際にあった事例です。しかも、見事にこの行動を減少させることに成功しました。
- ただし、ABAはHappyのためのテクノロジーだということをお忘れなく!!

# では、この事例はどうしますか？

## Practice!

特別支援学校でのこと。A君は、Bさんが自分の前を通ると、必ずと言っていいほどBさんの背中を激しく叩きます。

叩かれると、Bさんは、激しく泣き出しパニック状態になります。

教員はすぐにBさんを落ち着かせるため、別室につれて行きます。

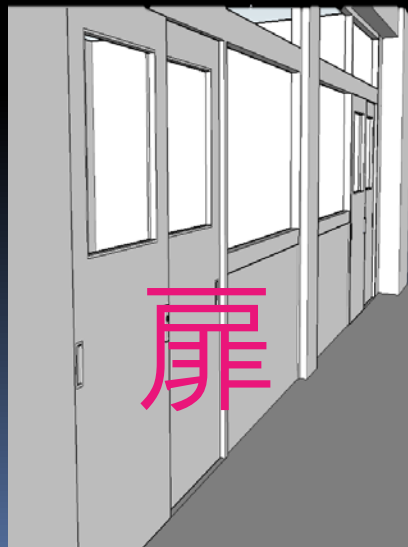
それにしても、最近、Bさんを叩く頻度が増加しています。

なお、A君は他の生徒には一度もこのようなことはしたことはありません。

さて、どうしますか？

A君がBさんを叩く行動を分析し、対応を検討してください。

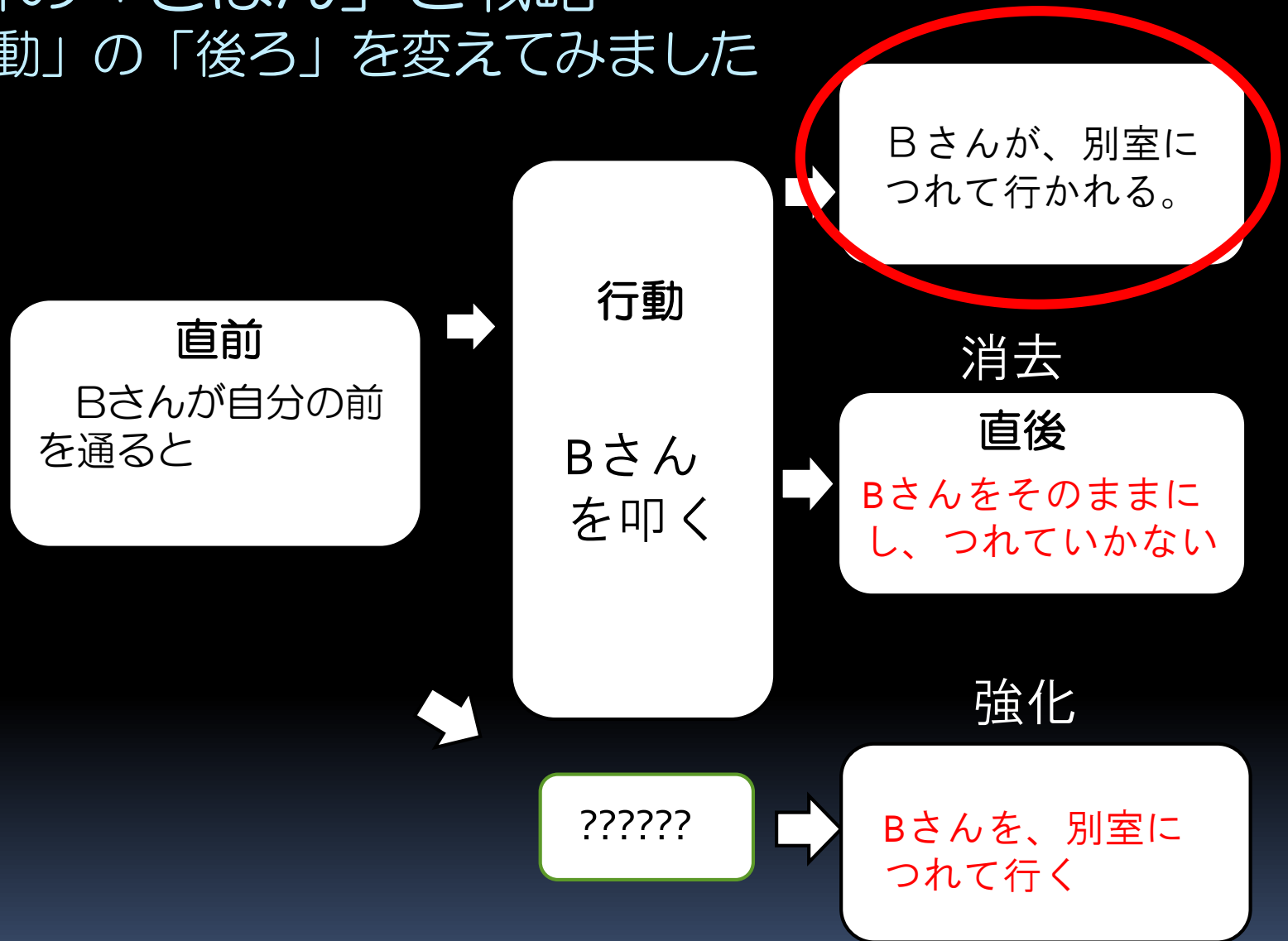
# 教室はこんな感じ





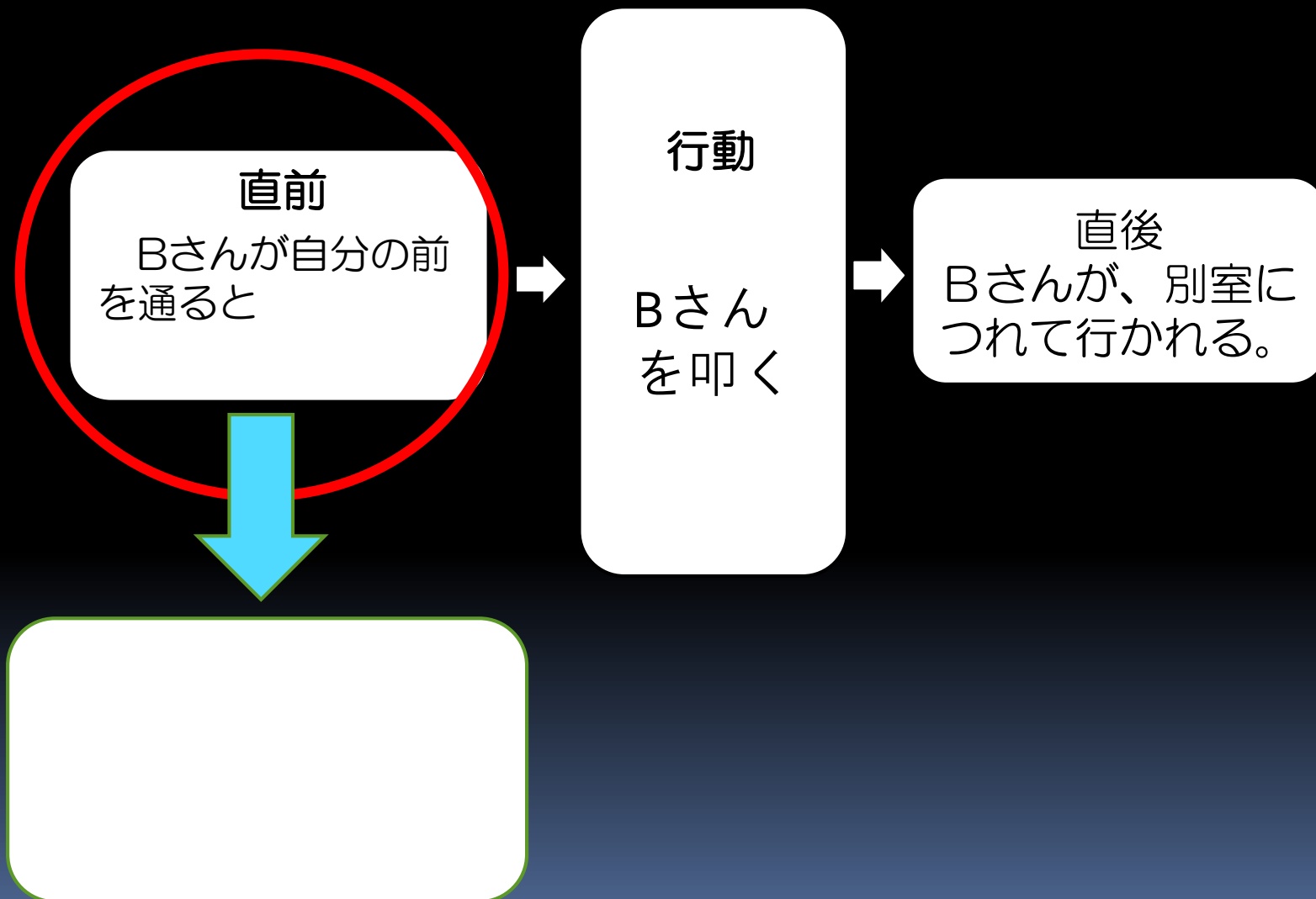
# 分析の「きほん」と戦略

「行動」の「後ろ」を変えてみました

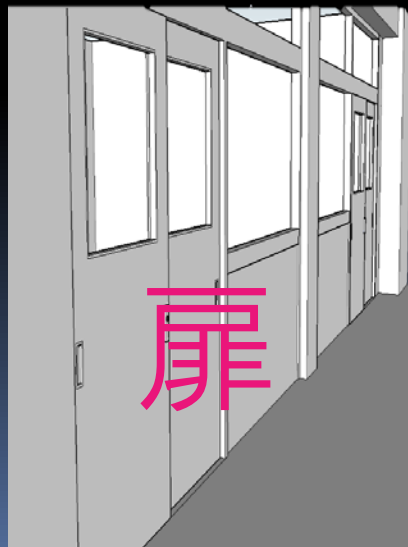


# 分析の「きほん」と戦略

「行動」の「前」を変えてみました



こうだったものを・・・



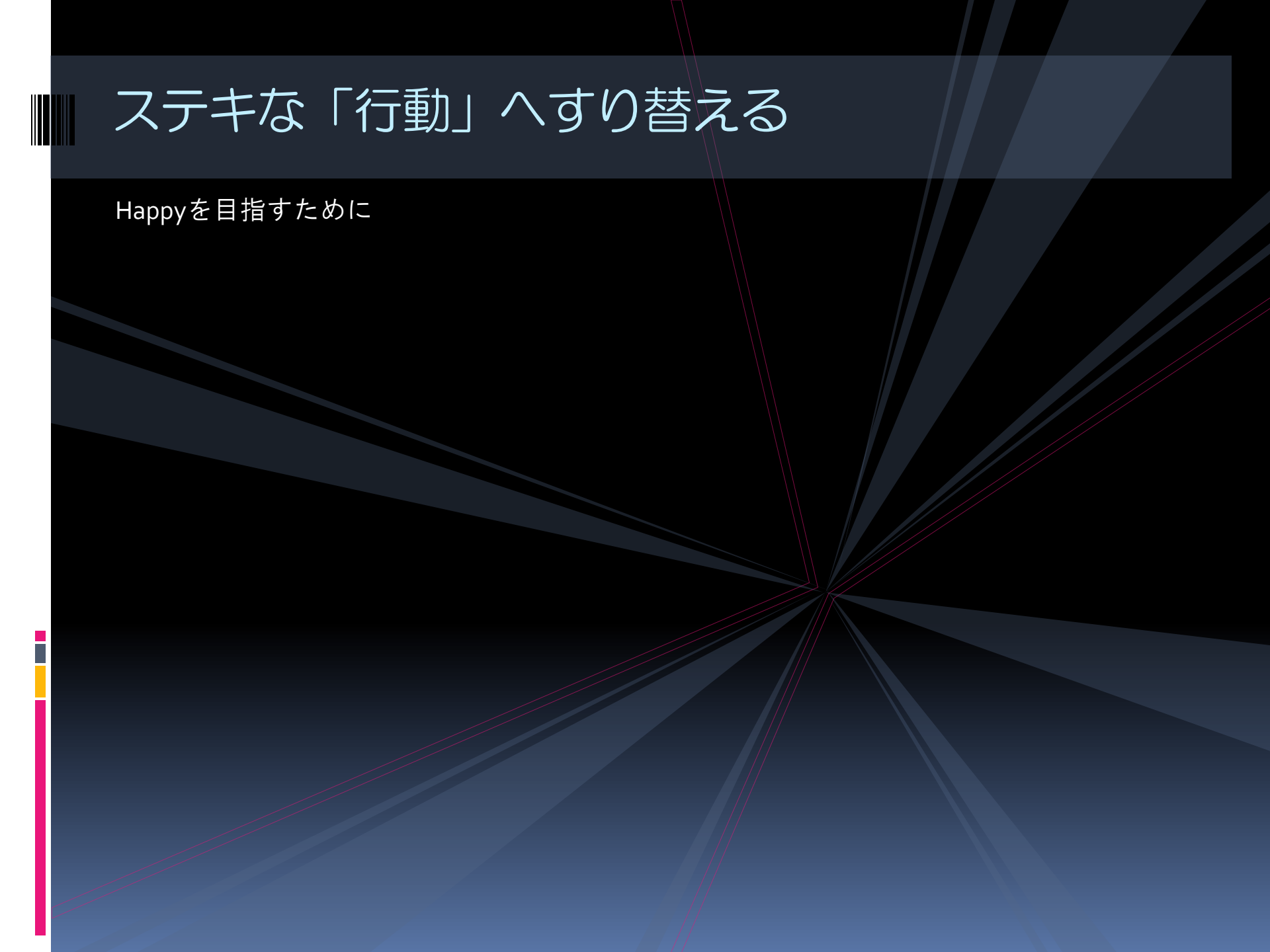

こうしました





# ステキな「行動」へすり替える

Happyを目指すために



# では、この事例はどうしますか?

## Practice!

Bさんの座席の位置を変更したところ、Bさんを叩く行動は、誘発されなくなりました。ところが、今度は、隣に座るCさんを叩く行動が出てきました。

しかも、この行動は、教員が「教示等の説明を口頭だけで行っている」時に起きていました。教員が、具体的にこれからする活動を見せたり、なんらかの活動に従事している時には出ませんでした。

さすがに、Cさんの座席の配置を変えても、対応には限界があると考えたので、このような行動が起きたときには、Aさんを別室につれて行き、そこで絵を描かせたり、ブロックを与えるなど具体的な活動を与えました。ところが、隣に座った子どもを叩く頻度はどんどんと増えていきました。

悪化こそすれ、改善する気配がないので、叩いたときは、「厳しく言い聞かせる(両手をもって「た・た・か・な・い!!」と目を見て言い聞かせる)」ことにしました。

それでも、隣に座った子を叩くことは減りません。結局、叩いた時は別室につれて行くしかなくなりました。

「きほん」をもとに分析し、対応を検討しましょう。

# 分析の「きほん」と戦略

「行動」の「後ろ」を変えてみました

**直前**  
教示等の説明を  
口頭だけで行っ  
ていると

**行動**  
Cさん  
を叩く

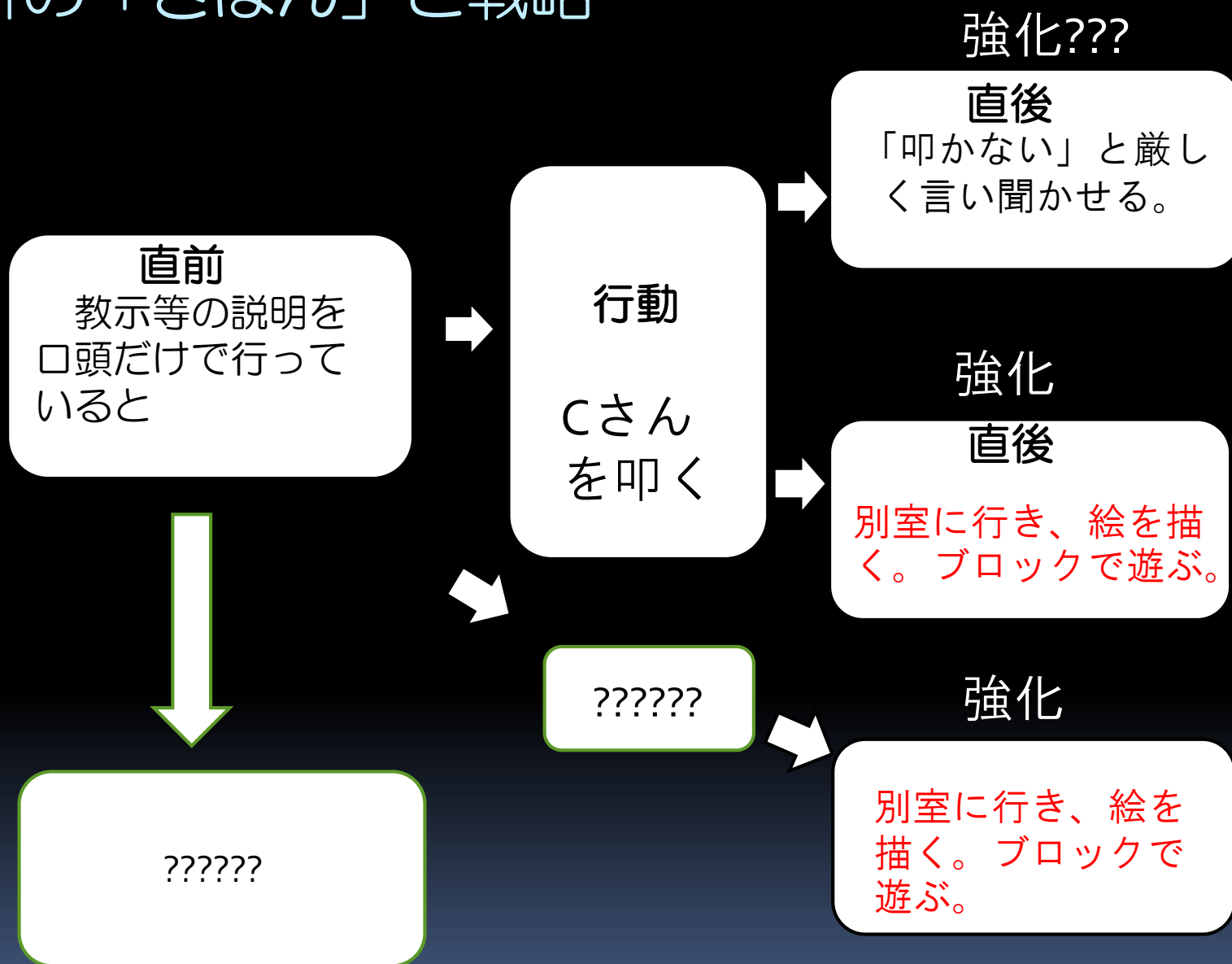
**強化?**  
**直後**  
「叩かない」と厳  
しく叱る・・・。

**強化**  
**直後**  
別室に行き、絵を描  
く。ブロックで遊ぶ。

???????

**強化**  
別室に行き、絵を  
描く。ブロックで  
遊ぶ。

# 分析の「きほん」と戦略








# おわりに

みんながHappyになれるように・・・



# 有川研究室

E-Mail : arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

Twitter: <https://twitter.com/aripiyon>

Facebook : <https://www.facebook.com/arikawa.hiroyuki>

HP: <http://arichannel.jp/>

本日使用したパワポのPDFを、1週間  
だけホームページ

「ありちゃんねる」の「研修資料」  
<http://arichannel.jp/research-program/lecture-meeting/>

にアップしておきます。ダウン  
ロードは自由です。



研究室公認ゆるキャラ「あり犬」